

## 【音楽専門部会】世界（民族）音楽の祭典 in 浜松について（報告）

### 1. 開催理由・目的

#### (1) ユネスコ創造都市ネットワーク加盟申請書記載事業

浜松市として2016年に「世界民族音楽の祭典」を開催することを明記している。

2016年には、ユネスコの音楽創造都市として使命を果たすために、ルーツ・ミュージックを通じた音楽イベントとなる「世界民族音楽の祭典 in 浜松」を開催する。世界民族音楽の祭典の実現に当たっては、ユネスコ音楽創造都市の加盟都市にも協力を仰ぐ。グローバルネットワークの時代だからこそローカルな文化の再生が求められる中、世界民族音楽の祭典の第1回目の開催テーマを“すべての民族は音楽を持っている”とし、民族音楽・民族舞踊・民族衣装など地域固有の文化の再生が自らのルーツとアイデンティティを再認識する機会となり、違いがあるからこそ他者を理解し合おうという国際平和の根源的なテーマについて音楽を通じて表現していく。

（ユネスコ創造都市ネットワーク加盟申請書P17より抜粋）

#### (2) アジアからアフリカ、西洋など世界に視座を置いた浜松市楽器博物館の特徴を活かす

浜松市楽器博物館は、世界の様々な地域の楽器を通じて、「人間」「文化」を考えることを目的に整備された施設であり、世界の楽器を偏りなく同じ目線で平等に展示紹介している。

#### (3) アジアにおける創造と交流の拠点を目指す

2014年に世界青少年音楽祭（8月開催済み）と静岡国際オペラコンクール（11月）、2015年には浜松国際ピアノコンクール、2018年にはアジア・太平洋吹奏楽指導者協会（APBDA）の大会を浜松で開催する。

#### (4) 音楽を通じた異文化理解の促進

世界の共通言語である音楽の背景にある歴史・文化・風俗・生活様式など各国の民族性、地域性にもスポットを当てた異文化理解を促進する。

---

## 2. 開催時期

### (1) 開催時期

平成28年度

### (2) 開催期間

5日間程度の幅を持たせて開催する。

### (3) 開催会場

アクトシティ浜松、楽器博物館、市内公共施設、北遠エリア等

### (4) 対象音楽

民族音楽から電子音楽まで

(加盟都市では、グラスゴーのケルト音楽、ボローニャのオカリナなど多彩な地域音楽が存在している。)

### (5) 参加都市

音楽分野の加盟都市、台北市、ワルシャワ市、その他アジア各都市

### (6) 事業内容

- ・ヨーロッパからアジア等の世界の楽器と音楽をテーマとした特徴的な音楽を紹介
- ・多様な音楽活動団体によるコンサート
- ・楽器博物館とも連携し、音楽祭で扱う楽器や音楽文化をクローズアップ
- ・市内各所でのミニコンサートや小学校等での楽器のワークショップの開催

## 3. スケジュール

### (1) スケジュール予定

- H26. 6月～ 浜松市創造都市推進会議（企画課）の音楽分野の専門部会の立上げ
- H26. 9月～ 音楽専門部会での国際会議の内容検討
- H26.11月末 ユネスコ創造都市ネットワーク加盟都市審査結果発表（想定）
- H27. 1月～ 実行委員会準備会の発足（国際会議&音楽の祭典）
- H27. 4月～ 実行委員会発足
- H27. 5月～ 開催準備・学識経験者や専門家との調整、音楽監督選任
- ・企画会議、実行委員会会議、制作部会会議の開催
  - ・国内、海外への音楽団体の出演交渉活動
- H27.12月 国際会議の開催（予定12/4～12/6）
- H28. 月 世界音楽の祭典 in 浜松の開催（時期未定）